

水ノ塔山・籠ノ登山山行報告

【山行日】2020年9月19日(土) 曇り後晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 2,800円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、嶋田、清水カ、関、福島、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P5:00 = 高峰温泉
P7:10/7:30 ~ 水ノ塔山 8:30/8:40 ~ 東籠ノ登山
9:30/9:40 ~ 兎平 10:10/10:30 ~ 見晴山 11:05/11:15
~ 池の平ベンチ 11:30/12:05 ~ 兎平 12:25/12:35 ~
高峰温泉 P13:15/13:25 = 道の駅「雷電くるみの里」13:55/14:10 = 岩舟支所 P16:05



シルバーウィークの初日、比較的楽に登れ展望と花を楽しめる山を求めて、水ノ塔山&籠ノ登山山行を計画した。ところが天気予報はあまり良くなく、10時過ぎから晴れの予報を信じて岩舟支所



を出発する。北関東道から上信越道を進み、小諸ICで降りて県道79号線から県道80号線を走り高峰温泉に着く。駐車場に車を止めると宿の人が来て、宿泊者用の駐車場なので止めないように言われ、路肩の空き地に車を止める。宿の脇にある公衆トイレについても、使用上の注意を受けたが何とか使用できた。準備を整えストレッチを済ませたら出発する。バスのUターン場所から登山道に入り、カラマツ林の中のクマザサの道を進むと、うぐいす展望台に出る。あいにくガスが

掛かり視界は無かったが、晴れていれば眼下に地蔵峠への林道が見える場所だ。小休止して衣服調整と水分補給を行う。少し下って広い尾根を登ると、溶岩の広場に出る。ゴツゴツした溶岩の中、ペンキマークを外さぬよう進むと傾斜が増してくる。大きな岩をよじ登るようにして進むと、水ノ塔山の山頂に出る。山頂は稜線上にあり、山頂標識が無ければ見落としてしまう。休憩を取りリンゴや菓子を食べて、エネルギーを補給する。ここから稜線の北側に回り込み、岩や木の根で歩にくい道を進むと、赤ゾレと呼ばれる崩壊地の上を歩くようになる。足元に注意しながらアップダウンを繰り返し、鞍部に出る。



眼下には地蔵岳へ続く林道が見え、皆さんからウワ～見えたと言ったと歓声が上がる。ここからシラビソの樹林帯を少し登り、森林限界を抜けて急斜面をひと登りで東籠ノ登山山頂に出る。

山頂は広く岩がゴロゴロした広場で、石を積み上げた所に山頂標識が立っている。山頂で記念写真



を撮り、休憩を取ってナシやゼリーをいただく。山頂からは南に延びる尾根を下り、湯ノ丸高峰林道が通る兎平に下る。兎平には大きな駐車場があり、トイレも完備されている。トイレを済ませ東屋で休憩して、見晴岳に向かう。東屋から尾根を緩やかに登り、途中左に池の平湿原を見下ろし爽快に歩ける。振り返ると登って来た東箆ノ登山や水ノ塔山が見え、「エ～あそこを歩いて来たんだ」と嬉しそう。雷の丘、雲上の丘とビューポイントが続き、雲上の丘で休憩する。天気は晴天になり眼下には

池ノ平の湿原が広がり、西側には湯の丸山や烏帽子岳、北側には東箆ノ登山が見渡せる。

さらに見晴岳山頂からは北アルプスの山々が見渡せ、槍ヶ岳の鋭鋒を見つけ大興奮。水ノ塔山、箆ノ登山では見られなかった眺望が得られ、皆さん大満足の様子。見晴岳からは少し戻って池の平湿原に下り、グリーン広場でランチタイム。キノコうどんを作り天ぷらをトッピングし、ゴーヤのサラダやウインナー、漬物などが並び、それぞれがベンチに陣取ってゆっくりいただいた。お茶を飲んだら出発し、鏡池を見てから木道を兎平に向かって進む。兎平でトイレ休憩を取り、ここからは林道を歩いて高峰温泉の駐車場に向かう。ところが、ここからはSLの高速歩きで皆さん四苦八苦する。A西さんはここが今日一番の歩きで、一番汗かいたと疲労困憊の様子。無事駐車場に戻り、靴を履き替えたらず帰路につく。高速道に入る前に道の駅「雷電くるみの里」に寄り、ソフトクリームを食べ野菜やお土産をゲットする。帰路も高速道の渋滞も無く、予定よりも早く岩舟支所に帰着出来た。

